

るうてる

2006年

4月号

 No.700

教職授任按手式礼拝

>>>>> 3.12 東京

3月12日(日) 宣教百年記念会堂(東京教会)にて、2006年度教職授任按手式礼拝が執り行われました。神と230名の会衆に見守られ、そして全国の兄弟姉妹の祈りを受け、3名の教職が誕生しました。



会場を埋め尽くす230名の会衆に見守られる中、明比輝代彦牧師(東海教区長)の司式により、2006年度教職授任按手式礼拝は進められました。山之内正俊総会議長はローマの信徒への手紙10章14節~17節から「福音を一人ひとりに」と題して御言葉を取次ぎました。



授任按手の部では、松岡俊一郎事務局長より、関野和寛氏、西川晶子氏、花城裕一郎氏がそれぞれ赴任先と共に紹介され、誓約に移りました。

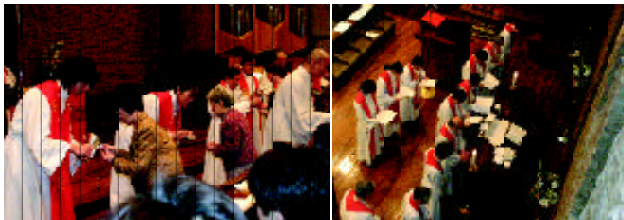
授任按手と授任は、議長、副議長、各教区長、教師会長、そして各宣教師会の代表が一人ひとりの頭に手を置き、「神のみことばを宣べ伝え、聖礼典を執行する務めを受けなさい」と、赴任先の教区長より、ストールを受けました。

聖餐の部では、新たに教職として立てられた3名が配餐者に加わり、会衆一人ひとりに「キリスト



のからだと血」とを分かち、3名の教職の誕生を実感する機会となりました。

関野牧師は東京教会協力牧師として、西川牧師はシオン教会(防府・柳井・徳山・益田・六日市)へ、花城牧師は浜松教会へそれぞれ遣わされます。新しい教職が与えられた恵みに感謝すると共に、どうぞ、それぞれの働きのためにお祈りください。



4月2日は日本福音ルーテル教会 宣教開始記念日

4月2日は、宣教開始記念日です。これは、1893年(明治26年)の4月2日のイースターの夕べに、日本福音ルーテル教会としての最初の公的な礼拝がもたれたことに由来しています。

この礼拝は、佐賀市松原明治通の古い民家を礼拝堂にして、シェラー宣教師の説教、最初の邦人牧師山内量平師の司式で行われました。ルーテル教会のメンバーは、ほかにピーリー宣教師と山内量平夫人のみの4人で、他に佐賀市内の日本基督教団の会員数名が応援に駆けつけてくれたとの事です。

宣教百年を祝った1993年は、4月2日の夕刻に、この佐賀教会を会場にして、宣教開始百年感謝礼拝が持たれ、その場で3名の新任牧師の按手式が持たれ、180名が各地から集まりました。

今年、宣教開始から113年が経ちます。これまでの神様の導きと、先人の努力を思い起こしながら、各地の教会や、それぞれの信仰のこれからの歩みをおもう有意義な日になればと思います。

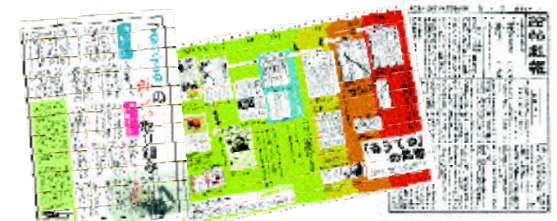
るうてる 700号記念!

今月号は、記念すべき700号になりました。広報室では、これを機に、創刊号からの機関紙の歩みを振り返りました。歴史の中で廃刊や新装、休刊も繰り返しながら、日本福音ルーテル教会の歴史を刻み続けてきた機関紙の歩みが見て取れます。

そこで、今月は創刊号や、るうてるの歴史を特集した特別付録が付録になっています。皆様も、この変遷を見ながら、先人の歩みと神様の導きに共に感謝していただければと思います。また、「るうてる 縮刷版のCD-ROM」も発売することになりました。視覚障がい者の方の要望にもお応えしようと、「テキスト

るうてる」をインターネット上に掲示し、希望者には電子メールでお届けすること、などいくつかの新しい取り組みも始めます。詳細は付録をご覧ください。

これからもどうぞ、よろしくお願いたします。



CONTENTS

目次	
1 教職授任按手式礼拝 宣教開始記念日
2 牧師の声・信徒の声 求道者の旅 13. ケネス・J・デール
3 編を味わう 神の祝福を生きる PM21「総会に向けて」
4 集計表速報チャリティーコンサート 議長コラム、宣教する教会 牧師補研修、インドワークキャンプ 人事異動報告、アスベスト対策 NCC総会、広告、住所変更
福音版	
1 バイブルメッセージ「光」
2 心の旅を見つめて人生早期に母と子の絆を
..... たるこままの子育てブログ	

クリスチャンのライフカレンダー

一生を主と共に

キリスト者として生きる私たちの人生には、いろいろな節目があります。誕生の時。いいえ、その前に神様によって命が与えられ、母の胎内にいてこの世界に一步踏み出すのを待っている時。そして、命が与えられ、やがて老いてゆくまで、悲喜こもごもの長い或いは短い一生を神様とともに歩んでいます。そこで人生の節目節目に起こる出来事をどのように捉えたらいいか、その時々をどのような心で迎えたらいかがかを考えてみたいと思っています。

題して「クリスチャンのライフカレンダー」。「父や母から子へ、ある時は、祖父母から孫へ、そのまた逆方向へと様々な手紙」シリーズでお届けします。

お読みになって、きっと、私は、こう思うとか、こんな経験をしたとか、ご意見が溢れることでしょう。その時は、編集担当まで、お寄せくださるようお願い致します。「るうてる」などで分かち合いたいと思います。

神様の御心に聴き従い、共に祈りつつ...



Teens の詩が本になりました。

第13回全国春のティーンズキャンプで参加した72名のティーンズが表現しました。

申込は...
宣教室 TNG-Teens
佐藤和宏まで
email:
kz-sato@jelc.or.jp



「いのちの詩」
(A4変形140ページ)
1冊 500円

Information

4

発行所 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
〒162-0842 電話03-3260-8631
日本福音ルーテル教会事務局広報室
振替口座 00190-7-71734
ウェブサイト http://www.jelc.or.jp
E-mail jelc@jelc.or.jp
発行人 徳弘浩隆 tokuhiro@jelc.or.jp
印刷人 精文堂印刷株式会社(定価1部40円)

神の言葉を売り物にせず
コリントの信徒への手紙二 2章17節

私の愛唱聖句



牧師 廣島教会 西教区 立野 泰博

今回から新しいシリーズが始まるのとこと。その第一回目を与えられて感謝です。私の愛唱聖句というところで、いろいろと考えてみました。

九州学院高校ではじめて聖書を手にしました。そして、イエス様の言葉に、「ここには真実」というものがある」と感動したことを覚えて

「神様のクレヨン」というエッセイ集を出版するとき、神の言葉を売り物にせず」という言葉が響きます。自分はこの出版を何のためにするのかが、これをおして

信徒の声

Interview—4月

NANRI Mitsuko Layperson

東教区 市ヶ谷教会 信徒 赤間 峰子

～教会の宝石を捜して～ 信徒

私は1941昭和16年に女学校を卒業しました。父は娘が働くことを嫌っていました。一年ほどで講座を終了し、礼拝に行ってみようということになりました。当然主人には内緒で礼拝が終わるとすぐ家に戻る生活が続き、その後主人、周郷先生が

相次いで亡くなり他に頼るものはないと洗礼を受けることになりました。それ以来礼拝はほとんど休んだことがありません。今思えば、すべて神さまの計画されたことだと感じています。

ところがガラスが割られたことでアパートから退去しなければならなくなり、ほしの家は一時閉鎖されることになりました。しかし公園に待っている人がいるということ、ルーテル教会だけでも活動を始めたのがほしの会です。すべてボランティアですから強制はありません。自分の出来ることを出来る時間にするようにしています。無理をきりませんから。

求道者の旅 A SEEKER'S JOURNAL

第13回 4月 - 新しい命の月



ケネス・J・デール ルーテル学院大学名誉教授 引退宣教師

4月、新しい命をお祝いするイースターがあります。日曜日ごとに復唱する使徒信条には「主は.....十字架につけられて死に.....三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座につき.....」何という驚くべき言葉でしょう。イエスが死から蘇ったということは、皆さんにとってはどのような意義があるのでしょうか。

復活に関しても、生きるための命のエネルギーを見る事ができます。人類が知っている生物学、物理学の原理を超えた命のエネルギーの新しい形を、この出来事において発見できるのです。信仰を持つという事は、この偉大な新しい形のエネルギーを信じるという事に他なりません。今でも世界中において、そして私にも働いて下さっているのです。

質問は出てきます。「生けるキリスト」を真に信じようとする時、そして心を開きそれを受け入れる用意があるならば、私達に働く不思議な力の偉大な可能性に対して、驚きと喜びに満たされるのです。イエス様を墓から導き出した力は宇宙から消滅してはいません。



【聖書研究】

詩編を味わう

文 賀来周一

1 | 神の祝福を生きる

いかに幸いなことか……主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉もしおれることがない。

詩編1編1〜3節

祝福にあずかるために

「いかに幸いなことか」という冒頭の言葉は、主イエスの山上の説教にある九福の教え（マタイ福音書5章）にある「幸いである」と同じで祝福されるという意味があります。祝福とは、そこだけを切り分けて聖別することで、信仰者が生きる上で神からいただくものは単純に幸福であるという意味ではありません。まことに神のみがおできになることに人があずかって生きることができるといふことです。

祝福をいただくためには、主なるお方の御心に従って生きる者でなくてはなりません。その生き方を示すにあたって、主の教えを守ると言わず、教えを愛するという言葉が使われていることに注目すべきです。愛するとは、神の御心とは何であるかを絶えず求めることなのだといふことを、この詩編作

者は、その教えを昼も夜も口ずさむ」と表現します。まるで歌を歌うように心のなかで口ずさんでいるのです。

信仰者とされた以上は、神との関係なしに日を過すことはありせん。ことさらに意識せずとも神との関係のありようを思い描いて生きていくはずで、神は一体何をこのわたしに求めておいでになるのか、何をしようと思っておいでになるのか、思わず知らず一日に何度も思い巡らすことでしょうか。

「口ずさむ」とは、そのようなわたしたちの姿を表します。それこそ信仰にある者の生き方であって、どんな善いことをするか、そんな悪いことをしないかの行為の選択ではないのです。道徳を基準とした生き方とは一味ちがうことを知る必要があります。

生活の中の祝福

そのような信仰者の日々は、神のみがおできになることにあずかって生きることにはほかなりません。それが神の祝福の中にあることなのだ。作者は教えているのです。

しかもそのことは、人の生活の只中で行われる信仰の営みです。「その人は流れのほとりに植えられた木」とありますが、この流れとは人工的に掘られた運河のこと、木もまた植樹された木を意味しています。人が構築し、人の匂いがむんむんする所、それこそわたしたちの日々の生活の世界です。その中であって主の教えを愛し、口ずさむわたしがいます。

ときには神の御心はわたしたちにとって何であるかを探しあぐねることもありましよう。病の床に臥せざるを得ない時、懸命の努力が報われない時、愛が裏切りに出

会った時、取り去りようもない人生の重荷にあえく時、神の御心はどこにもないかのようです。そのよつなとき、この詩編の言葉は大きな慰めです。信仰によって生きる人は、神にしかおできにならないことにあずかることができること、教えるからです。

ヘンリ・ナウエンはその著傷付いた癒し人の中に、一人の神学生を登場させます。彼は病院での臨床訓練につくことになりました。病床訪問に備えてカウンセリングの方法をひたすら学び、病床に訪れます。ある時懸命に関わった一人の病者が手術の甲斐もなく天国に旅立ってしまった。彼は言葉と祈りをささげ、懸命に関わった病者との日々が一体何であったのかと空しさに襲われるのです。その彼にスーパーバイザーの牧師が声を掛けます。

「君はその病人と最後に別れる時、何と行って別れたかね。」
「僕は、また明日」と言って別れたのです。

牧師は彼に言います。
「君が、普通の人として、その言葉を使ったとすれば、単なる挨拶に過ぎない。しかし、君は信仰者として、その言葉を言ったはずだ。だったら、また明日」と言った、その言葉の明日は、亡くなった人にとって、永遠の明日になっている。

人の知恵は、この意味を捉えることはできません。しかしながら信仰の知恵は、ここで起こったことの中に神のみがなさることが信仰者の生活の中にあることを教えます。人の日常の営みでありつつ、その中に神が切り分けて聖別してくださった世界があるといふことです。信仰者はその祝福の世界にあずかって生きることができ、これこそ幸いといふべきでしょう。

教勢表速報

受洗者減少は続く

各教会から集まった2005年度の集計表によると、全国集計の受洗者数は172名と前年に続き減少となり、過去最低を更新しています。

微増してきた召天者数と、減少を続ける大人の受洗者数は、今年ほぼ一致してきました。これは地教派にも見られることですが、教会員の高齢化、受洗者の減少、教職者の減少という課題にどこも直面しています。

教会の現実を見据えて、効果的な宣教方策実現に、全国の祈りと知恵を集めることが期待されます。

詳細は、総会前に配布される正式な集計表をご覧ください。

世界の子ども支援チャリティコンサート

日本福音ルーテル社(JEA)と日本福音ルーテル教会世界宣教委員会は、第3回「世界の子ども支援チャリティコンサート」を開催します。今回ハーピストのクリスティーナ・トゥーリンさんを米国からお招きし、つろぎに満ちたコンサートをお届けします。ぜひおいでください。

テーマ
Helping Children in Need
餓えや病気に苦しむ子どもたちに愛と希望を!

入場料 無料 * 席上献金の時間があります

コンサート日程と会場

5月19日	金 午後7時	田園調布教会
5月20日	土 午後2時	蒲田教会
5月21日	日 午後3時	札幌教会
5月23日	火 午後7時	本郷教会
5月25日	木 午後7時	京都教会
5月26日	金 午後7時	熊本教会
5月28日	土 午後2時	岡山教会
5月28日	日 午後2時	栄光教会

問い合わせ総会窓口
日本福音ルーテル社(JEA) 電話:03-3447-1521
詳細は、各教会へ送付済みのポスター等をご覧ください。

総会に向けて.....

総会に向けて各委員長にお話をうかがいました。最後はP6、P7委員長です。

P6 (組織と宣教態勢の見直し)

委員長 山之内正俊

P6の課題は、教会を組織の面から改革することです。まず第一に、日本福音ルーテル教会を鳥瞰的に見渡し、教会の規模と配置という観点から、見直しを図りました。そして教会再編という課題を上げ、教会の合同を目指しました。合同には至らなくても、幾つかの教会が協力して宣教に当たるその協力のあり方を強化する方策として、新たに教会共同体という概念を導入しました。教会の合同あるいは教会共同体形成によって、教会の力を結集し、宣教力を高めることが狙いです。

次に、常議員会の構成を見直しました。本教会の行政執行機関としての機能を高めるために、教区選出の常議員を、本教会選出の教区所属常議員とし、各教区から男女1名ずつ推薦される中から、本教会総会において各教区1名ずつの常議員を選ぶことにしました。その際、かつ男性のみに偏りがちなのを防ぐため2名以上の男女を確保することとしました。また、新たに議長指名の常議員を設け、宣教主事の任に当たらせることとしました。この常議員会の構成の改革は憲法を改正しなければなりません。憲法を改正するには全正議員、出席議員ではなく、78%以上の賛成が必要です。是非、

出席して下さい。採決に参加して頂きたいと思えます。

総会には、P6関連としては憲法改正案、本教会規程改正案、そして新規の規定案が提案されます。

総会では、具体的にはこれらの関連する憲法や規程や規定の条文について審議をして頂くこととなりますが、何よりも、福音を一人でも多くの人に伝えるという使命を果たすための教会に変身するのだという思いを持って、議論して頂きたいと思えます。安定した教会という教会のあり方から、手弁当を下げてでも他者に開く教会、自分が生かされている福音を一人でも多くの人と分かち合う教会を目指して、教会の改革に取り組みたいと思えます。そのような熱意の溢れる総会となることを期待します。

P7 (財政計画)

委員長 関口昌弘

1. 現在まで取り組んできたこと
第21回総会期中で検討・審議してきたことは、長期財政20ヶ年計画、教職退職給付制度/教会年金改正、神学生奨学金制度変更、土地建物計画支援制度の見直し、協力金に関する改正等である。~ 1. 事務委員会マターとして合同

常議員会/常議員会で審議され既に実施()、されているもの、07年度から実施する()ものである。

2. 総会に提案されること
土地建物計画支援制度の見直し、協力金に関する改正の2件である。

内容的には、合同常議員会/常議員会で確認されている第22期総会に成文案を提案する。はいわゆる1/3方式の見直しであり、自己資金率:貸付率:補助率がそれぞれ50%:40%:10%である。

は、「暫定的」にPM21予算を生み出すために協力金の配分率を学院:教区:本教会をそれぞれ10%:40%:50%に変更する。3. それどのような変化をもたらしますか

本教会の財政は、極度に弱体化しており、その部分的なこ入れに過ぎない。具体的には、本教会の年間必要経費は、約1億2千万円であるが、協力金は、4千万円弱である。この差は、今まで蓄積してきた資金・基金からの繰入と収益からの繰入である。この状態を脱却するのは、容易ではない。

4. 総会で議論してほしいこと
協力金配分案()が暫定的、との意味は、07年度と08年度のPM予算確保である。抜本的に本教会と教区のあり方は、教会再編の状況を見きわめた上で、08年総会に新たな提案をすることを意味している。

先輩からのメッセージ

3月末に引退された中村先生からメッセージを頂きました。



時代との真摯な対話を！

中村圭助 先生

神学校を卒業しながら、当時の教会刷新を願って牧師職を一時辞退した9氏言。主の教会への熱い思いがあったからである。1年の自活の後、共感をもって迎えて頂き、以来33年間、主に導かれて来たことに心から感謝している。しかし今変化する時代の中で、教会の教理的な刷新が求められているように思え、時代への適切な対応がなされることを祈りつつ見守っていきたい。

2006年度 牧師補研修



機管理「(益田哲夫)、「牧師の具体的な働き」(北尾郎)

例年の研修プログラムである2006年度の新任研修及び牧師補研修の第1回が、3月16日から17日、東京教会を会場に行われた。今年、3名の新任教職・牧師補、関野和真、西川暁子、花城裕一朗が対象となった。主な研修内容は、「日本福音ルーテル教会宣教21について」(議長・宣教室長)、「日本福音ルーテル教会の牧師像」(教師会長)、「教会の人間関係」(牧師と信徒)、「三浦知夫(牧師)と教会の危ある。」

4月は出発の時です。それぞれの教会でそれぞれ新しい歩みを始められたことと思います。今年も牧師の交代が起った教会が幾つかあります。それらの教会は特に新しい歩みを始められた。この4月を感慨深く迎えられるように思います。希望、満ちた出発の上に神様の祝福をお祈り致します。

さてこの4月は、日本福音ルーテル教会全体としては5月3日からの全国総会に向けての準備の時です。私たちの教会では、総会に最高意思決定機関となつていきます。この総会に向けて2年間の教会の歩みが方向付けられます。この総会の決議に基づいて常務委員会具体的には、執行を行って行きます。

今、私たち日本福音ルーテル教会は、「宣教方策」を大きな指針として掲げ、歩んでいます。今度の総会はこの「宣教方策」を具体化する総会となります。この方策の狙いは、教会の力を外に向けて発揮することです。教会の使命を「福音」一人でも多くの人に「実現する」として捉えるからです。

(m-yamanouchi@jelc.or.jp)



議長コラム

「全国総会に向けて」

Table with 2 columns: 2006年度 教職人事異動 (2006年4月1日付) and 人事異動. Lists various clergy members and their roles.

インド ワークキャンプ

2月19〜27日に、第2回インド・ワークキャンプを開催した。今回は6名の参加者が、北西部のCRHPという施設に遣わされた。義足作りを中心に、小学校での折り紙遊び、農場の見学、村のヘルスワーカーを訪ね、その働きを見たり、別の村での結婚式にも参加した。言葉の壁を越え、心からのもてなしをし



アスベスト対策を各教区で！ 社会でも大きな問題と なっているアスベストに 関係者を招き、実情を聞 け、対策を講じたい。 各教区宛に封筒をゆう ぽうにて送ります。 各教区でも対応くだ さいませ。 東教区では早速2月 25日(土)に、アスベ スト対策委員会の席に ます。



公告 この度左記の行為を致しますので宗教法(論議)第三の規 定に基づき公告します。 2006年3月15日 宗教法人 日本福音ルーテル教会 代表役員 山之内 正後 信徒利害関係人 各位 森 教会 土地売却 所在地 大分県玖珠郡玖珠 町大字帆足字大釣 地番 三三七番三三 地目 宅地 地積 四一・一六二㎡ 地番 三三七番九 地目 宅地 地積 一・九七㎡ 地番 三三三番一 地目 宅地 以上

住所変更 福本豊子 2033 Gentingrove Rd. Kamapols, NC 28083-6238, U.S.A. 3月号で住所変更の案内をしましたが郵便番号が変更になりましたので再度ご連絡いたします。

Table listing clergy members and their roles, including 重富克彦 (Lutheran Church), 向田 薫 (Lutheran Church), 徳野昌博 (Lutheran Church), etc.

Table listing clergy members and their roles, including 宣教師 (宣教師), 河田 優 (Lutheran Church), 藤井邦夫 (Lutheran Church), etc.

Table listing clergy members and their roles, including 西川暁子 (Lutheran Church), 防府教会兼 (Lutheran Church), 徳山教会兼 (Lutheran Church), etc.

編集後記 2006年4月号をお届けします。主の愛を心に刻みつつ、心静かな中にも宣教の業が豊かにされますようお祈りします。(編集部)